

有機農業課程（有機農業アカデミー）

令和9年度入学

第2期生

学生募集要項

土からはじまる、未来の学び。



兵庫県立農林水産技術総合センター

兵庫県立農業大学校

〒679-0104 加西市常吉町 1256-4

TEL (0790) 47-1551 FAX (0790) 47-1772

<http://noudai.hyogo-nourinsuisangc.jp>

目 次

| | | |
|----|----------------------------------|----|
| I | 兵庫県立農業大学校有機農業課程（有機農業アカデミー）学生募集要項 | |
| 1 | 募集の目的 | 1 |
| 2 | アドミッション・ポリシー（入学者受入方針） | 1 |
| 3 | 募集定員及び方法、修業年数 | 1 |
| 4 | 出願資格 | 1 |
| 5 | 入学試験 | 2 |
| 6 | 出願書類及び提出先 | 3 |
| 7 | その他 | 4 |
| II | 参 考 | 15 |

令和8年度有機農業アカデミー現地説明会及びオンライン説明会開催予定

1 開催日時

ア 現地説明会〔各日共通 13:30～15:00（希望者には15時以降個別相談に対応）〕

令和8年6月21日(日)、7月18日(土)、8月16日(日)、9月19日(土)、
10月18日(日)、11月14日(土)・15日(日)^{注1}、12月20日(日)、
令和9年1月16日(土)、2月21日(日) 注1) 11月は収穫祭にあわせ土日ともに開催

【会場】県立農業大学校有機農業アカデミー教育棟

イ オンライン説明会〔各日共通 19:00～20:00〕

令和8年6月3日(水)、7月1日(水)、8月5日(水)、9月2日(水)、
10月7日(水)、11月4日(水)、12月2日(水)
令和9年1月6日(水)、2月3日(水)

2 内 容 有機農業アカデミーの概要、質疑応答、施設・ほ場見学^{注2}

注2) 施設・ほ場見学は現地説明会のみ

3 申 込 下のQR又は本校ホームページから、参加希望日の3日前までに申し込んでください。

現 地
説 明 会



オンライン
説 明 会



I 令和9年度（2027年度）兵庫県立農業大学校 有機農業課程（有機農業アカデミー） 学生募集要項

1 募集の目的

本県の農業振興に必要な人材となる農業後継者及び農村地域の指導者にふさわしい人材の養成確保を図る。

次代の農業を担い、地域における農業の振興等に指導的役割を果たす感性豊かな人材を養成する。

2 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

次のような学生を求めます。

- (1) 農業の生産技術や経営を学ぶ上で必要な基礎的学力と知識を身につけている人
- (2) 有機農業に関心を持ち、自らが実習ほ場を管理できる基礎的な農業技術や知識を有している人
- (3) 地域の農業者と連携して技術向上を図るなどの協調性や熱意を持つ人
- (4) 身につけた技術や知識を活かして、有機農業を実践する担い手や指導者等として本県農業の発展に貢献しようとする意欲がある人

3 募集定員及び方法、修業年数

| 課 程 | 定員 | 募 集 方 法 | 修業年数 |
|--------|-----|--------------------|------|
| 有機農業課程 | 10人 | 一般入学 (前期・中期・後期) | 1年 |

4 出願資格（全日程共通）

次の①から③のいずれも満たす者

- ① 令和9年4月1日現在、学校教育法による高等学校を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者、及び兵庫県立農業大学校長が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- ② 兵庫県の農業振興に強い関心を持ち、人物及び健康に優れた者
- ③ 有機農業に関心を持ち、自らが実習ほ場を管理できる基礎的な農業技術や知識を有している者
- ④ 併願可

5 入学試験

(1) 募集人数

【前期日程】募集定員 10 人で実施する。

【中期日程】募集定員から前期日程の合格者数を引いた人数を募集する。前期日程で定員を満たした場合は、実施しない。

【後期日程】募集定員から前期日程及び中期日程の合格者数を引いた人数を募集する。それまでに定員を満たした場合は、実施しない。

(2) 試験日程

| 日程 | 内容 | 期間及び時間 |
|-----|------|--|
| 前 期 | 願書受付 | 令和 8 年 8 月 17 日(月)から令和 8 年 9 月 16 日(水)まで |
| | 入学試験 | 令和 8 年 10 月 2 日(金) 午後 1 時から |
| | 合格発表 | 令和 8 年 10 月 7 日(水) 午前 10 時 |
| 中 期 | 願書受付 | 令和 8 年 11 月 11 日(水)から令和 8 年 12 月 10 日(木)まで |
| | 入学試験 | 令和 8 年 12 月 22 日(火) 午後 1 時から |
| | 合格発表 | 令和 8 年 12 月 25 日(金) 午前 10 時 |
| 後 期 | 願書受付 | 令和 9 年 1 月 4 日(月)から令和 9 年 1 月 21 日(木)まで |
| | 入学試験 | 令和 9 年 1 月 29 日(金) 午後 1 時から |
| | 合格発表 | 令和 9 年 2 月 3 日(水) 午前 10 時 |

(3) 願書受付

願書の提出は、郵送もしくは持参により行うこと。

持参の場合は上記期間中の土日祝日を除き、午前 9 時から午後 5 時までとする。

郵送の場合は、受付期間最終日**必着**とする。

(4) 入学試験

入学試験当日は、午後 12 時 30 分から受付を開始します。

試験は、午後 1 時から筆記試験（小論文）、面接試験の順に行う。

(5) 合格発表

合格発表は、午前 10 時に合格者の受験番号を本校校舎の正面玄関に掲示するとともに、本校ホームページで発表する。

6 出願書類及び提出先（全日程共通）

（1）出願書類

- ア 入学願書
- イ 履歴書（本人自筆の上、顔写真を貼り付けること）
- ウ 志望理由書（自筆のこと）
- エ 農業経験等確認書
- オ 調査書（高等学校長が作成し、厳封したもの）。調査書を提出できないときは、当該調査書に代えて次に掲げるいずれかの書類を提出してください。
 - ① 学業成績証明書
 - ② 卒業証明書
 - ③ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号。以下この項において「省令」という。）第 10 条第 2 項に規定する合格成績証明書（省令附則第 3 条の規定により読み替えて適用する同項の合格成績証明書を含む。）
- カ 令和 8 年度入学試験受験票
 - ※一般入試試験用（写真は履歴書に貼り付けたものと同一のもの）
- キ 宿泊申込書兼整理表
 - ※宿泊、食事を希望する場合のみ
- ク 受験票送付用封筒
 - ※郵送で提出する場合のみ（長形 3 号封筒に郵便番号、住所及び氏名を記載し、110 円の切手を貼り付けたもの）

（2）入学考査料

入学考査料 2,200円

※ 郵送の場合は郵便為替又は定額小為替とし、各願書受付期間の属する月の初日以降に振り出したもののみ有効。また、受取人指定欄、受領者欄等は一切記入しないこと。

（3）入学願書の提出先等

ア 提出先

兵庫県立農業大学校 教務課

〒679-0104 加西市常吉町 1256-4

イ 提出方法

入学考査料を添え、郵送（簡易書留又は書留）又は持参すること。

（4）書類の請求

封筒表面に「有機農業課程募集要項請求」と朱書し、返信用封筒（角形 2 号以上のものに郵便番号、住所及び氏名を明記し、270 円の切手を貼り付けたもの）を同封して、本校あて申し込むこと。

なお、インターネット上の本校のホームページからダウンロードも可能。

7 その他

ア 受験者で試験日前日からの宿泊が必要な方は、原則、各自で周辺宿泊施設を手配すること。なお、本校研修宿泊棟でも宿泊できるが、宿泊人数に限りがあるので、宿泊できない場合がある。

宿泊棟への宿泊希望者は募集要項添付の宿泊申込書兼整理表に記入のうえ、出願時に申し込むこと。宿泊できない場合は、その旨連絡する。

イ 昼食は各自で用意すること。なお、本校食堂の利用を希望する者は、募集要項添付の宿泊申込書兼整理表に記入のうえ、出願時に申し込むこと。

8 受験に関する問合せ先

兵庫県立農業大学校 教務課

〒679-0104 加西市常吉町 1256-4

電話 0790-47-1551 FAX 0790-47-1772

入 学 願 書

兵庫県立農業大学校の.....有機農業.....課程に入学したいので、
許可下さるようお願いいたします。

令和 年 月 日

兵庫県立農業大学校長 様

本 人 住所.....

ふりがな
氏名.....

昭和・平成 年 月 日生

電話 (.....) -.....

電子メール.....

保 護 者 住所.....

ふりがな
氏名.....

電話 (.....) -.....

電子メール.....

備考 保護者の欄は、本人が18歳未満の場合に限り、記入してください。

1 農業経験の状況

| | | | | | |
|------------|-----------------------|----------|--|-------|--|
| 農業経験年数 | 約 年 | 栽培面積 | | 農地所在地 | |
| 体験した農地 | 所有農地 ・ 市民農園 ・ その他 () | | | | |
| 栽培経験のある品目 | | | | | |
| 有機農業での栽培経験 | ある ・ ない | 有機栽培した品目 | | | |

2 就農準備活動の状況

| | | | | | |
|-------------|--------------------------------|-------|---------------------|--|--|
| 就農希望(予定)地 域 | 県外の場合は都道府県名から記載 | | | | |
| 研修状況 | あり ・ なし | | | | |
| | ↳ | (研修先) | (時期) 令和 年 月から令和 年 月 | | |
| 就農相談機関 | 市町村 ・ JA ・ 県関係機関 ・ その他 () () | | | | |
| 相談状況 | ※簡潔に記載 | | | | |

3 目指す進路

| | | | | | |
|----|---|--|--|--|--|
| 進路 | 兵庫県内での就農* ・ 県外での就農* ・ その他の就職 (独立 ・ 雇用) (希望地:) () | | | | |
|----|---|--|--|--|--|

*就農を目指す場合は以下を記載

| | | | |
|----------------|------------------|-------------|---|
| 栽培品目 | | 目標(5年後)経営規模 | a |
| 有機栽培と慣行栽培のバランス | 有機 (割)、 慣行 (割) | | |
| 経営開始の必要見込額 | 万円 | | |
| 就農に向けた課題 | ※簡潔に記載 | | |

農業経験等確認書

本校は、実習は場を個別管理する実習を行うため、一定以上の農業に関する知識と技術を有している方を求めています。

そのため、あなたの農業経験を把握するため、以下の事項の該当する項目（カタカナ）に○をつけてください（右欄の選択方法に従って記載してください）。

| | |
|-----|--|
| 氏 名 | |
|-----|--|

| | |
|---|--------------|
| 1 農作業（栽培）経験 (1) 主に自ら栽培計画、農作業、栽培管理を行った栽培経験年数 ア 5年以上 イ 3年以上5年未満 ウ 3年未満 エ 経験なし | 選択方法 いずれか |
| (2) 栽培場所・方法 ア プランタや植木鉢での栽培のみ イ 庭の隅など小規模な家庭菜園で地植え栽培の経験がある ウ 市民農園を借りている（いた）：面積（ m ² ） エ 農業経営体で正社員又はパートとして働いている（いた） オ 親族が兼業農家で農作業を手伝っている（いた） カ 親族が専業農家で自分は専従者になっている（いた） キ 自らが兼業農家である ク その他（ ） | いずれか |
| (3) 栽培したことのある品目 ア 水稲のみ イ 野菜（品目： ） ウ その他品目（豆類、麦類、果樹） エ 無農薬・無化学肥料で栽培した農作物 （品目： ） | 該当項目すべて |
| (4) 農業機械等の使用経験 ① 使用経験 ア 乗用型トラクタで耕うんしたことがある（始動から停止まで自らできる） イ 歩行型耕耘機又は管理機で耕耘したことがある（始動から停止まで自らできる） ウ その他の農業機械（田植機、コンバイン、バインダー）などエンジン式の機械等を使用したことがある エ バッテリー式の農業機械等を使用したことがある オ 刈払い機（エンジン式又はバッテリー式）で草刈りを行ったことがある カ エンジン式又はバッテリー式の農業機械等を使ったことがない | いずれか |
| ② 所有している農業機械・施設等 ア トラクター イ 耕うん機 ウ 管理機 エ 刈払い機 オ パイプハウス（ビニールハウス） カ 農業用倉庫 | 該当項目す |

| | |
|--|----------------|
| <p>(5) 行ったことがある作業内容等</p> <p>① 播種・育苗</p> <p>ア セルトレイに播種したことがある</p> <p>イ ポット育苗をしたことがある</p> <p>ウ 直播栽培や購入苗しか使ったことがない</p> | <p>該当項目すべて</p> |
| <p>② 施肥設計、農薬散布</p> <p>ア 必要な成分量を計算し、散布する施肥量を計算したことがある（アプリを利用せずに）</p> <p>イ 農薬や液肥の希釈計算を行ったことがある（アプリを利用せずに）</p> <p>ウ 上記の計算を行ったことが無い</p> | <p>該当項目すべて</p> |
| <p>③ 収穫物の出荷、販売</p> <p>ア 農協や卸売業者、量販店等に出荷販売したことがある</p> <p>イ 公設・民設の直売所で販売したことがある</p> <p>ウ 庭先販売したことがある</p> <p>エ 生産物を販売したことはない</p> | <p>いずれか</p> |
| <p>2 就農への家族の理解</p> <p>ア 家族全員が理解し、手伝う意欲がある</p> <p>イ 理解はしているが手伝う意欲はない</p> <p>ウ 反対している</p> | <p>いずれか</p> |
| <p>3 免許の所持</p> <p>ア 普通自動車免許</p> <p>イ 大型特殊免許（農耕車に限る を含む）</p> <p>ウ 持っていないが開講前までに普通免許を取得予定</p> <p>エ 何も持っておらず、かつ取得を予定していない</p> <p>オ その他（)</p> | <p>該当項目すべて</p> |
| <p>4 卒業後に利用できる農地の確保状況</p> <p>ア 本人名義の農地がある</p> <p>イ 親族名義の農地がある（相続予定）</p> <p>ウ 借入地がある（農地バンク又は農地法の手続きによる）</p> <p>エ 確保できていない</p> | <p>いずれか</p> |
| <p>5 自らの有機農業を含めた営農（就農）のビジョン（簡潔に記載）</p> | |

[一般入学試験用（前期・中期・後期）]

宿泊、食事は、下記の注意事項をよく読んで申し込んで下さい。

- 1 下の表の希望欄に○印を付して申し込んで下さい。
- 2 宿泊等の受付は出願時のみとします。また、受付後の申込内容の変更は原則として認めませんので、よく検討した上で申し込んで下さい。
- 3 寝着、洗面具等は、備え付けていませんので、各自持参して下さい。
- 4 試験前日（10月1日又は12月21日又は1月28日）の宿泊希望者は、16時30分までに来校して下さい。
- 5 宿泊当日に宿泊料等の金額を徴収します。釣銭のいらないように準備してきて下さい。
試験前日宿泊者・・・窓口受付時 試験当日昼食希望者・・・試験当日受付時
- 6 ※印欄は記入しないで下さい。

(キリトリ線)

令和9年度入学試験受験票

| | | |
|---|---|-----------|
| フリガナ | | ※受験番号 |
| 氏名 | 昭和 平成 年 月 日生 | |
| 出身高校名 | | ※入学考査料領収印 |
| 写真は りつけ欄 | 1 正面上半身を 無帽で撮影した もの 2 提出の日3箇 月以内に撮影し たもの 3 横3cm×縦4cm のもの | |
| ※試験日 前期：令和8年10月 2日（金） 中期：令和8年12月22日（火） 後期：令和9年 1月29日（金） | | |

(キリトリ線)

- 記入上の注意
- 1 ※は記入しないこと
 - 2 写真は願書提出時に履歴書に貼り付けたものと同じものをはがれないように貼り付けておくこと

(キリトリ線)

宿泊申込書兼整理表

| | | | | | | |
|------|---|----|----|-----|------|---|
| 受験番号 | ※ | 氏名 | 性別 | 男・女 | 部屋番号 | ※ |
|------|---|----|----|-----|------|---|

| | | 朝食 300円 | 昼食 500円 | 夕食 500円 | 宿泊料 1,700円 | 計(円) |
|------|------|------------|------------|------------|---------------|------|
| 申込欄 | 試験前日 | | | | | |
| | 試験当日 | | | | | |
| 計(円) | | | | | | |

*食物アレルギーがある方は、各自で食事をご準備ください

| 領収書（控） | |
|--------|--|
| 領収年月日 | |
| 宿泊料 | |
| 食費 | |
| 計 | |

| 領 収 書 | |
|-------|--|
| 領収年月日 | |
| 宿泊料 | |
| 食費 | |
| 計 | |

II 参 考

1 本校学生の特典

- (1) 在学中に、次の資格、免許等の取得を積極的に支援する。
 - ア 大型特殊自動車運転免許（農耕用限定）
 - イ 危険物取扱者
 - ウ 農業機械利用技術者
 - エ フォークリフト技能、小型車両系建機運転技能、アーク、ガス溶接技能
 - オ 刈払（草刈）機取扱作業者
 - カ 日本農業技術検定
- (2) 卒業後、1年以内に就農（独立就農または雇用就農）することが確実と見込まれる等、一定の要件を満たす学生は、就農準備資金の申請ができる。

2 授業科目

- (1) 共通科目（農産園芸課程野菜専攻と一緒に受講）
農業経営、農業簿記、農薬概論、農業機械Ⅰ、病虫害Ⅰ（病害）、病虫害Ⅱ（虫害）、環境創造型農業、鳥獣害対策
- (2) 専攻科目（有機農業課程のみで受講）
野菜栽培各論Ⅰ、野菜栽培各論Ⅱ、有機農業概論、土壌肥料、植物生理、生産工程管理（GAP）及び有機 JAS、流通・販売・マーケティング、先進事例講義、地域農業校外学習、農業基礎・実技演習
- (3) 実 習
専攻実習、先進農家派遣実習

3 諸経費（令和8年度入学生徴収額）

- (1) 入 学 金 5,650 円
- (2) 授 業 料（1ヶ月） 9,900 円（年 118,800 円）
- (3) 損害保険団体加入金（1年分） 9,510 円
- (4) 有機農業課程互助費 50,000 円（予定）（校外学習経費、農家研修時の機械破損修理費等）
この他、教科書代、作業服等実習教材費は、必要に応じて徴収します。

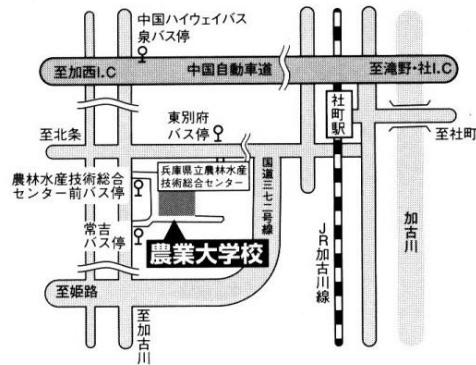
※上記(3)及び(4)は、変更する場合があります。

4 その他

- (1) 有機農業課程の学生は通学制となります。
- (2) 実習ほ場は、1年間、与えられた露地区画及びビニールハウスを個人で管理していただきますので、土日、休日にも必要に応じて野菜の栽培管理を行ってください。

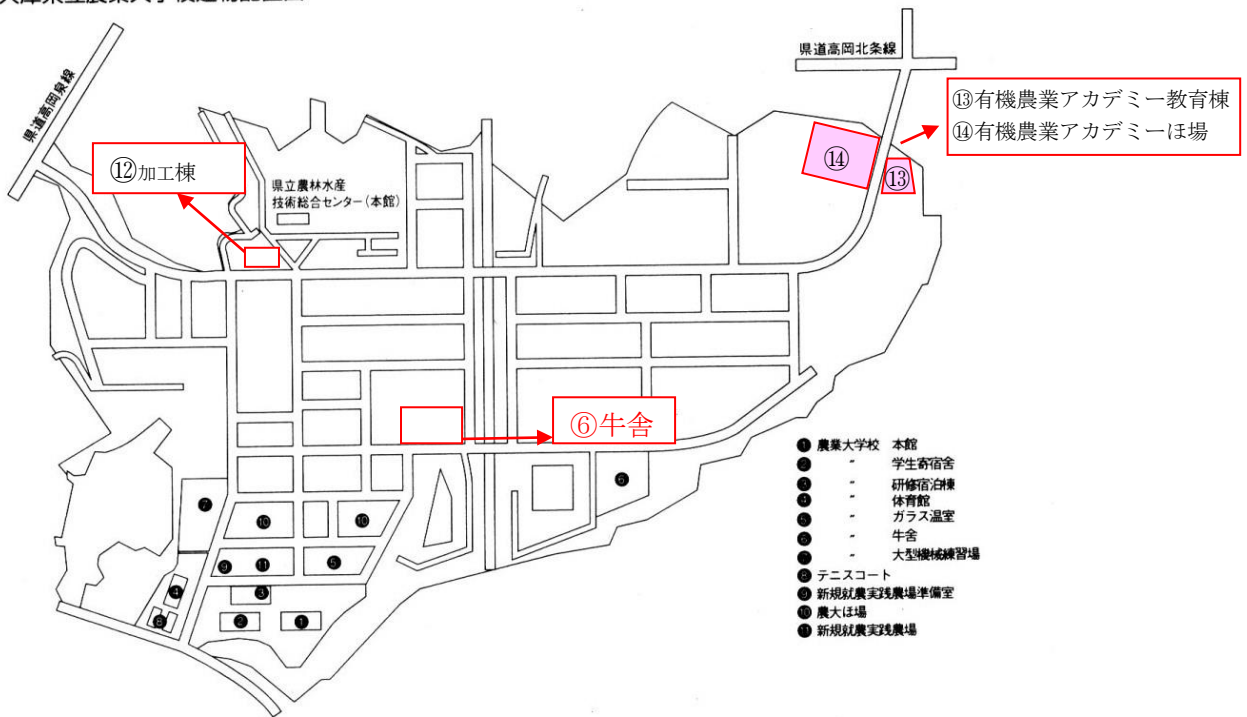


附近見取図



(注) 最寄の「社町駅」から約4.5km南西の方向に位置します。
 交通機関 姫路～社間の神姫バス又は、中国ハイウェイバス(泉バス停)
 ※バス利用の場合は事前に時刻を確認して下さい。

兵庫県立農業大学校建物配置図



(農業大学校本校舎)



Hyogo Prefectural Agricultural College

(有機農業アカデミー教育棟・農機格納庫)



Organic Agriculture Academy



農業大学校HP



アカデミー学生募集HP



アカデミーInstagram

詳しいことは、兵庫県立農業大学校有機農業アカデミー担当に
お気軽にお問い合わせください